



日食の観測方法

6月11日の部分日食 2002年5月8日発行

日食の観測の仕方として、ここでは白黒フィルムを使った方法とピンホールを利用した方法をご紹介します。こうした方法で太陽が欠けていく様子をぜひご覧下さい。また、余裕があれば時間を決め、太陽が欠けていく様子を記録しておくともよいでしょう。

【観測方法1】

サンマスクをつくろう！！

白黒フィルムを感光させ、現像したフィルムで溶接の時につかうようなマスクをつくって、観測してみましょう。

用意するもの	作り方
白黒フィルム (フィルム1本で6セットほどできます) 厚紙(A4程度の大きさ1枚) (空箱を利用するとよいでしょう。) カッター・定規・セロハンテープ(両面テープ)	(1)白黒フィルムを収納ケースから引き抜いて、フィルム全部を光にあて感光させます。 (2)感光させてフィルムをカメラ店へ持って行き現像してもらおう。 (3)現像した白黒フィルムを13cm程度の長さに切ったものを2枚用意する。 厚紙(大)を顔にあて、目の位置に2cm×12cmののぞき窓をあける。 (4)厚紙(大)ののぞき窓に白黒フィルムを2枚重ねて貼り付ける。



サンマスク



サンマスクで太陽を見てみましょう。くっきりと太陽の輪郭がわかります。

【観測方法2】

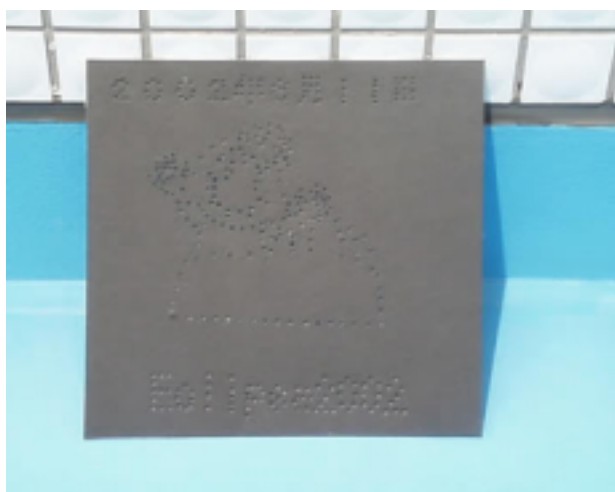
ピンホールを利用しよう！！最も安全で、最も簡単で、最も安価な観測方法です。

厚紙にコンパスの先などで小さな穴をあけると完成です。

太陽の光をその小さな穴を通して、白い紙などに写すと、欠けた太陽の形を見ることができます。

テレホンカードなどにあいた穴を利用することもできます。

また、小さな穴をいくつかあけておくと、あけた数だけ太陽の形が写ってきます。
小さな穴で模様をつくっておくのも面白いですね。



小さな穴で模様をかきました。
この穴を太陽の光が通り、太陽の欠けた形で模様ができます。

テレホンカードなどを利用すると簡単に太陽を写すことができます。

(注意) 太陽をピンホールの穴から直接見ないようにしてください。